

園児や小中高生

「田辺の体操」地域に披露

2月14日 一般観覧者募る 演技交流会

田辺市上の山十丁目の田辺スポーツパーク体育館で2月14日、園児や小中学生、高校生が出演する体操の演技交流会が開かれる。地元の人たちに体操を身近に感じてもらい、裾野を広げようと一般の観覧者を募る形にした。参加者は「美しくて楽しい体操」を披露するため、練習を重ねている。

交流会は田辺ジュニア体操クラブが主催。強豪として知られる明洋中学校や田辺工業高校の体操部と、田辺体操教室が協力のする。同クラブの交



演技交流会に向け練習を重ねる高校生ら
(田辺市上の山十丁目の田辺スポーツパークで)

流会は26回目になるが、これまで保護者らにしか呼び掛かれていなかった。田辺スポーツパークでの開催は初めて。園児から高校3年生までの計約170人が「出演」する。

模範演技(午後2時45分から)の構成の一部は、田辺工業高校体操部2年の山本開君(16)が考えた。ゆかの基本的な前転、後転から大技の「後方伸身宙返り3回ひねり」までを盛り込んだ。同体操部は、昨年7月の全国高校総体(インターハイ)総合開会式で披露した組体操に技を追加した演技をする。2年で主将の橋本和樹君(16)は「本番では、きれいにそろったところを見せたい」と意気

約170人が「出演」する。昨年の国体で入賞した県チームのメンバーもいる。交流会は午後0時半から。園児や児童が練習の成果を披露した後、生徒らによる模範演技がある。ゆか、あん馬、平均台、鉄棒といった種目を観覧者は間近で見られる。3時すぎからは、幼児・小学生が無料で参加できる体育教室がある。生徒らが指導する。

交流会実行委員会が委員長を務める田辺体操教室の川間大志代表(31)は「この地域で体操を頑張っている選手が一堂に集まるのはめったにない機会。皆で素晴らしさを広めたいし、一人でも多くの人に来てもらいたい」と話す。

リハーサルで動き確認

23日には田辺スポーツパーク体育館でリハーサルがあった。参加する子どもたちは、来場者を意識しながら技や演技を何度も確認。演技の間はときはぎと動いた。

明洋中体操部の女子部員は、普段ウォーミングアップにしているダンスを披露する。2年で女子主将の尾形乃綾さん(14)は「人前で踊るのは新1年生に対するクラブ紹介の時くらい。毎日やっているのに緊張はしないと思うけれど、笑顔を心掛けたい」。2年で男子主将の林聖人君(14)は「体育教室では小さい子どもたちと仲良くなるのが楽しみ。交流会で田辺の体操を知ってもらえれば」と話している。